

平成 24 年度 室内環境学会第 3 回役員会議事要旨

日 時：平成 24 年 9 月 21 日（金）15:00～17:00
場 所：(株) アイデック 7 階会議室
出席者：小野、中井、東、関根、篠原、柳沢、野崎（以上実出席）、柳、樺田、濱田（委任出席）
監 事：斎藤
事務局：中島、松木、色摩
欠 席：なし
議事次第：

1) 標準化委員会について

役員会の冒頭に、雨谷標準化委員長から委員長辞任の申し出があった旨小野会長より報告があった。これに伴い、東副会長が標準化委員長代行に任命された。

2) 平成 24 年度学術大会進捗状況報告

関根大会長から報告があった。11 団体から後援をいただいたこと、東海大学からの補助金が得られたことその他、最新のタイムテーブルが示された。国際シンポに関しては台湾からの参加者について回答待ちであり、学生懇談会は高橋万葉（東海大）、高野大地（日本大）両学生会員が世話人となったこと等が報告された。演題の申込件数は現時点では少ないが、この後伸びると予想されることとであった。ほぼ例年通りの進捗状況とのこと。また高等学校からの参加打診が今年もあったと報告された。

3) 委員会等報告

社会連携委員会：室内環境 Q & A について、整理が済んだものから順にホームページにアップしてゆくの方針が示された。また国際シンポへの招聘費用について確認があり、航空運賃と国内滞在費として 1 人あたり 10 万円 + α を見込むことが確認された。

出版委員会：関根委員長より、まず委員の異動について、現状報告があり、また任期満了を迎える委員が多く、後任を選任する必要があると述べられた。委員会では年 4 回発刊の検討が進められており、紙質やページ数の変更によるコストダウンも含め、見積依頼中とのこと。1 号 40 ページ程度を想定しているとのことであった。また査読者賞については、11 月に選考することの他、15 巻 2 号の α 切等が示された。これらに対し、発行回数を増やす際には、発送コストも増大するので留意すべきとの意見が出された。また学会誌の広告掲

載に対して質問があり、現状で学会誌、ホームページ、大会要旨等と個別に受けている公告に対し、窓口を一本化することが望ましいとの意見が出され、広報委員会と出版委員会で調整することとした。

学術委員会、広報委員会については次週委員会を開催する旨報告があった。

商標管理委員会：柳沢委員長から 5 名の委員に委嘱を行った旨報告があった。

4) 法人化検討 WG に関する件

中井代表からこれまでの検討状況が報告された。スケジュール案が再度提示された。また、役員会メンバー及び公証人役場からの意見により修正された定款案が提示され、特に変更になった部分、現行の会則と大きく異なる部分について説明があった。公証人役場からの指摘で、理事及び代表理事の選任・選定（あわせて選出でもよいかもしれません）について修正が、また評議員については定款から削除された。現行と異なる部分は、評議員の位置づけが変わること、支部長が理事にならない点が挙げられた。ここで支部の扱いについて議論があり、本部組織の一部に組み込み、支部長を理事にすべきとの意見もあったが、最終的には支部の自主的な活動のために、本部から独立し、支部長も理事としないこととした。以上の議論から定款案が取り纏められ、パブリックコメントにかけることとなった。また法人への移行時期について、総会時に議論が必要とされた。なお第 10 条 (2)、会員資格の喪失に関する記述についての解釈をめぐって議論があり、確認することとなった。

6) その他

・事務局より会員動向について報告があった。会員数は微減にとどまっている。一方財務状況については依然として厳しい状況が続いていると報告された。

・評議員改選について事務局から説明があった。
・9 月 27 日開催の講演会「粒子状物質とその暴露」のアナウンスがあり、参加呼びかけの依頼があった。

以 上